

## 最近の管内経済概況

(2021年2月の経済指標を中心として)

～ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、  
持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、悪化している。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年4月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2021年4月現在)

発表月	2020年11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	
生産活動	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	<u>弱い動きがみられる</u>	<u>悪化しつつある</u>	<u>悪化している</u>	悪化している	
公共工事	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	
住宅建設	<u>下げ止まりの動きがみられる</u>	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

# 生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

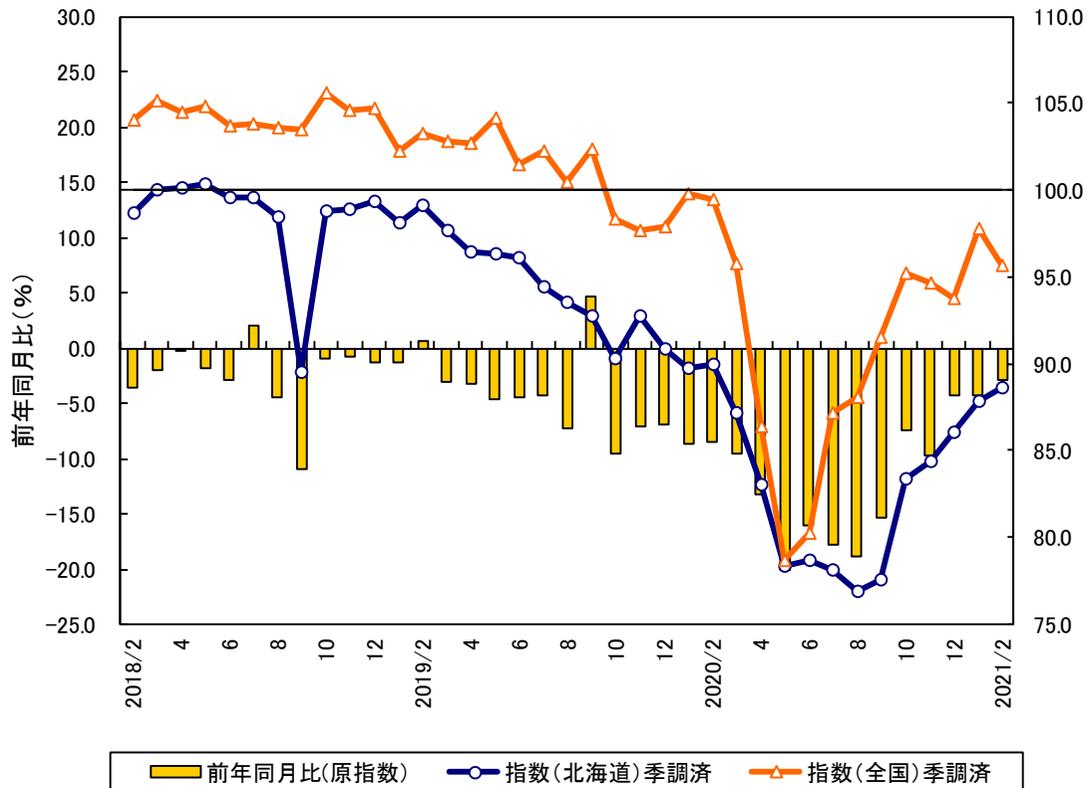
2月の鉱工業生産は、前月比+0.8%と6か月連続で上昇した。上昇業種は、金属製品工業など6業種となった。低下業種は、一般機械工業など9業種となった。

< 2月 >		
季節調整済指数		
北海道 (速報)	88.6	(前月比 + 0.8%)
全国 (速報)	95.7	(前月比 ▲ 2.1%)

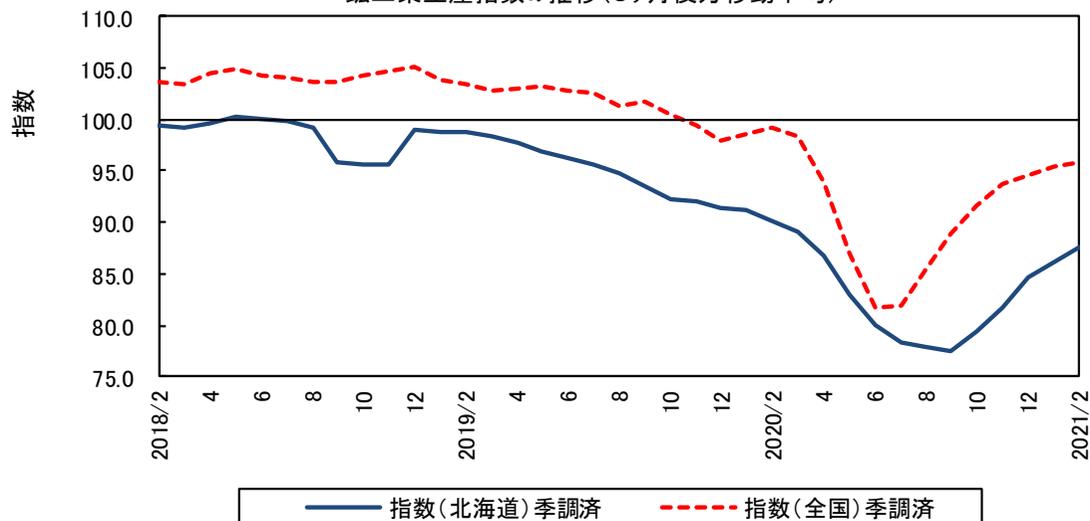
## 【ヒアリング内容】

- ・大型施設の受注があったことから、鉄骨の生産が増加した。(金属製品工業)
- ・1月は生産設備が停止していた期間があったが、2月はフル生産となったため、化学・石油石炭製品の生産が増加した。(化学・石油石炭製品工業)
- ・受注の減少により、一般機械の生産が減少した。(一般機械工業)
- ・自動車産業からの需要が好調なことにより、電子部品の生産が増加した。3月はさらに増加する見込み。(電気機械工業)

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

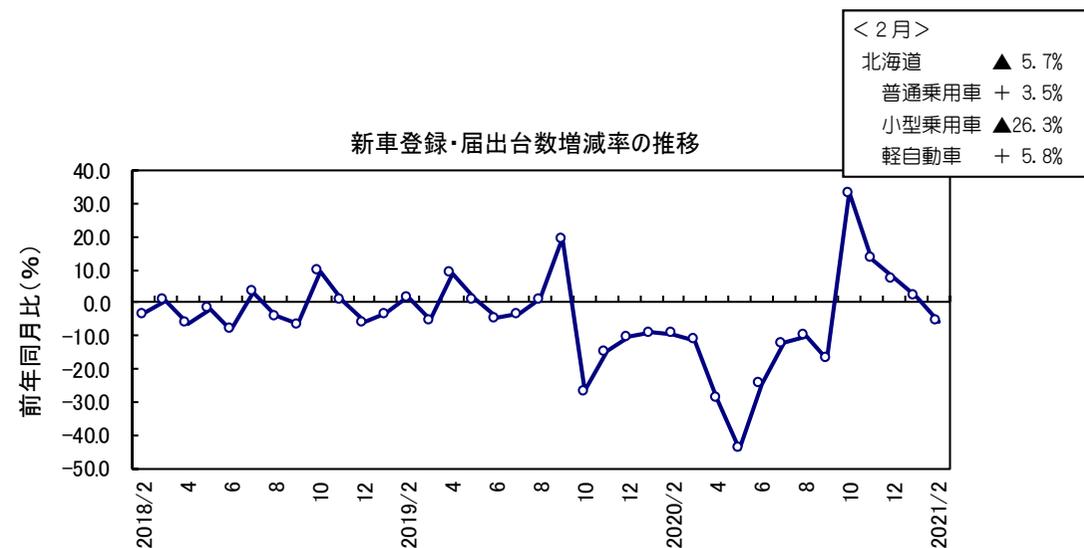
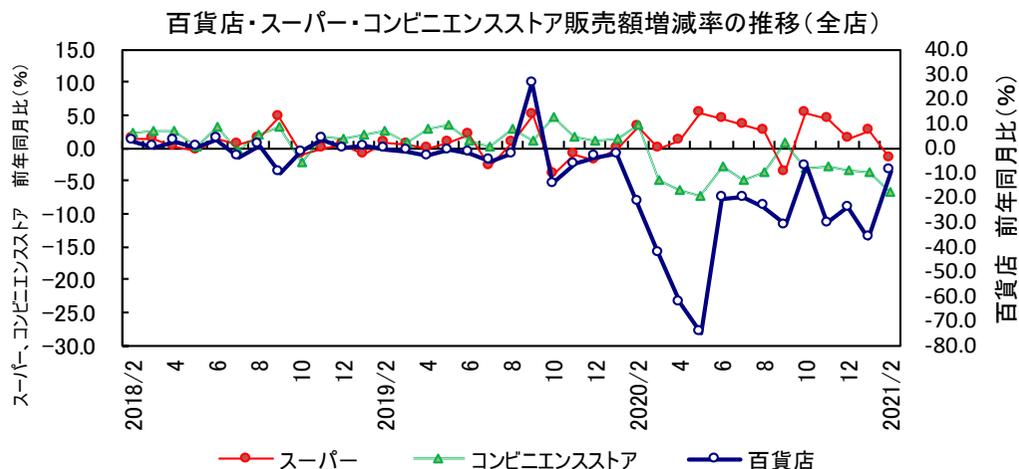


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

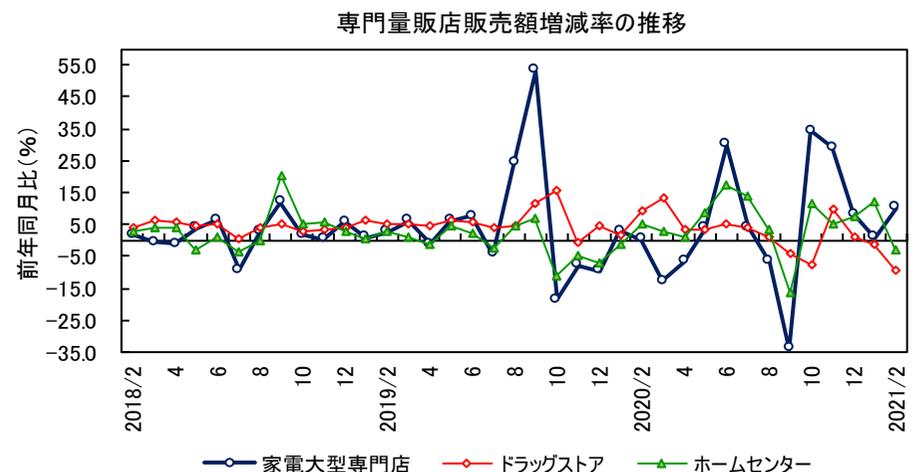
# 個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

2月の個人消費は、家電販売は前年を上回ったものの、他の業態は前年を下回った。

- 百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲9.4%と17か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、内食需要は継続しているものの、前年同月の反動減などにより、同▲1.5%と5か月ぶりに前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同▲6.7%と5か月連続で前年を下回った。
- 家電販売は、同+10.3%と5か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同▲9.6%と2か月連続で前年を下回った。
- ホームセンターは、同▲3.0%と5か月ぶりに前年を下回った。
- 新車販売は、同▲5.7%と5か月ぶりに前年を下回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



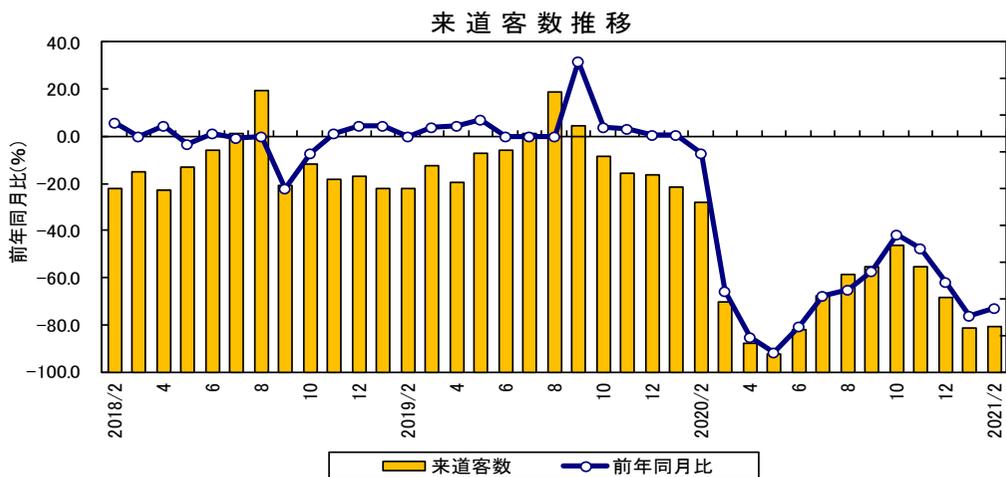
(資料：北海道経済産業局)

## 【ヒアリング内容】

- 売上の減少幅は縮小したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、衣料品や化粧品などの売上は依然として不振である。(百貨店)
- 内食需要は継続しており、患方巻も好調に売れたが、前年の食料品や日用品の買いだめ需要の反動などにより、売上が減少した。(スーパー)
- 内食需要などにより、住宅街の店舗は良い動きが続いているが、テレワークや観光客の減少などにより、オフィス街や観光地の店舗は依然として厳しい。(コンビニエンスストア)
- DIY需要が継続しているほか、地震の影響もあり防災意識の高まりから、ポータブルストーブの売上が増加した。一方で、前年の衛生用品の買いだめ需要の反動により、全体では売上が減少した。(ホームセンター)
- 冷蔵庫など除菌機能等を搭載した高機能製品が好調に売れている。また、パソコンの売上が、前月は一時的に減少したものの、学生需要などにより再び増加した。(家電大型専門店)

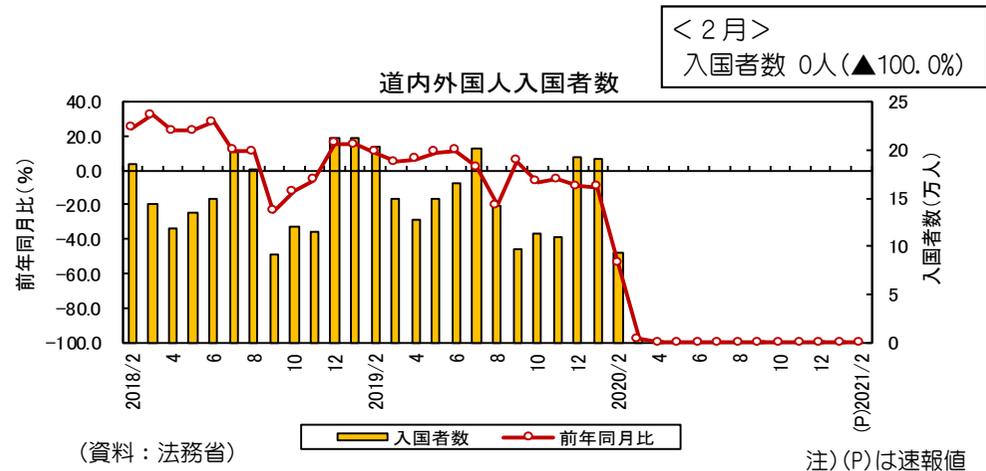
# 観光 ～ 悪化している ～

2月の来道客数は、前年同月比▲73.2%と13か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と17か月連続で前年を下回った。



< 2月 > 来道客数 246,687人 (▲73.2%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

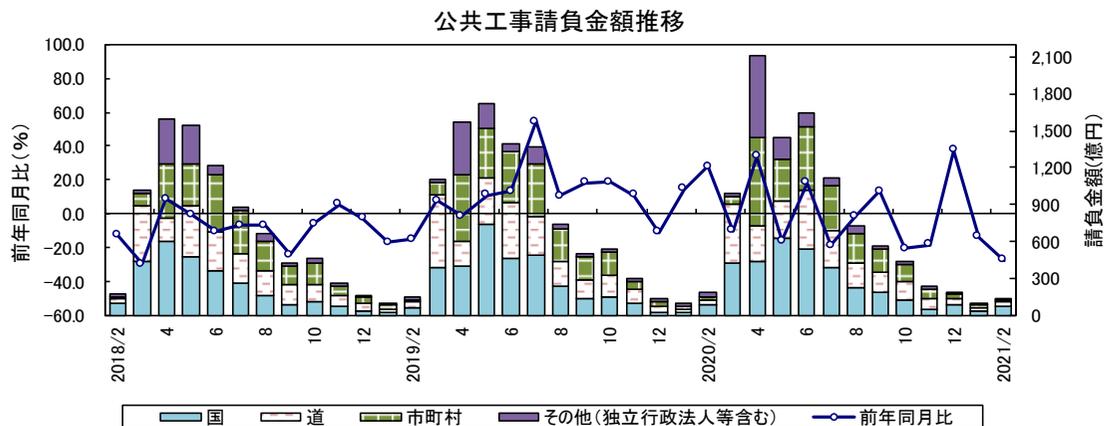


## 【ヒアリング内容】

- 2月はビジネス関係の宿泊客がそれなりにいたものの、観光客は新型コロナウイルス感染症の影響で非常に厳しい状況であった。イベントも開催されたが、ソーシャルディスタンスの関係で入場者数は大きく制限されたようである。航空機の就航便数も大幅に減少しており、先行きも厳しい見通しである。(関係機関)

# 公共工事 ～ 減少している ～

2月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を下回り、前年同月比▲27.2%と2か月連続で前年を下回った。



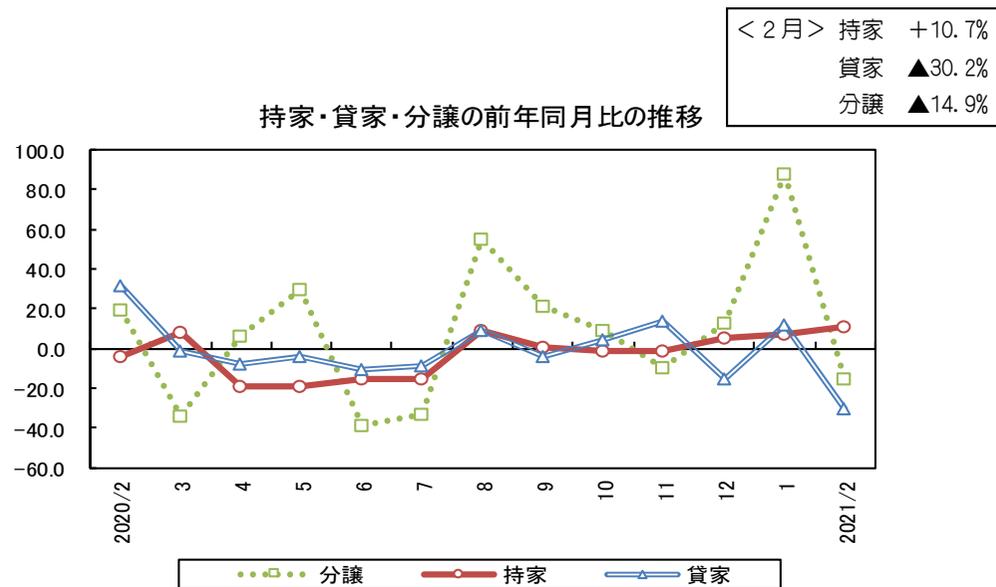
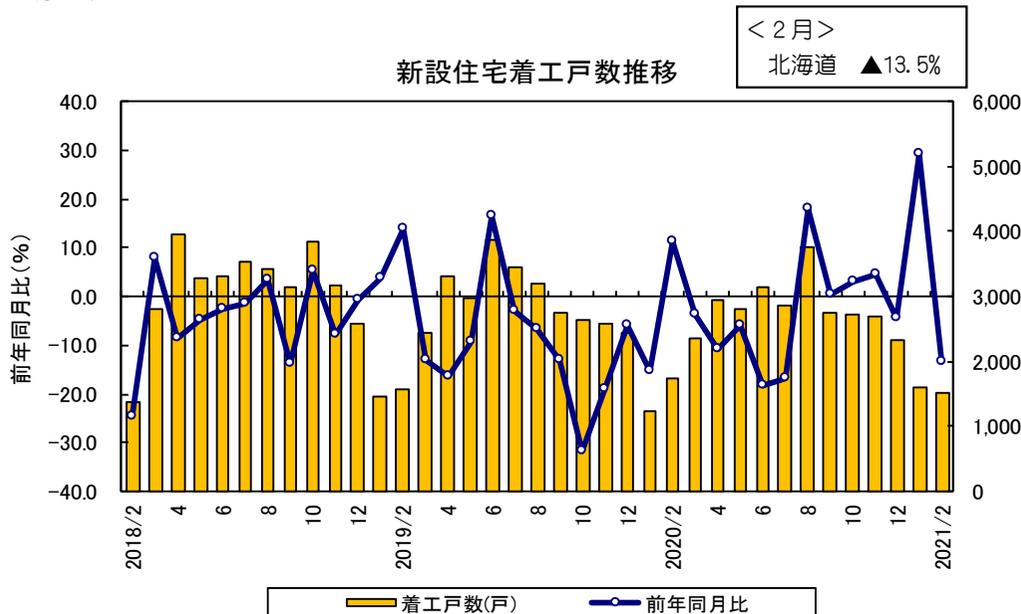
< 2月 >  
 北海道 ▲27.2%  
 (内訳)  
 国 ▲19.4% 道 ▲4.6% 市町村 ▲51.5% その他 ▲53.3%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

2月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったが、貸家、分譲が前年を下回り、前年同月比▲13.5%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 減少している ～

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲13.0%と4年ぶりに前年度を下回った。なお、2021年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年4月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 13.0%	▲ 4.7%
製造業	▲ 0.4%	▲ 21.3%
非製造業	▲ 19.1%	+ 5.0%
全国	▲ 5.5%	+ 0.5%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年3月12日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	▲ 11.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 27.4%
非製造業	▲ 2.9%	▲ 3.7%

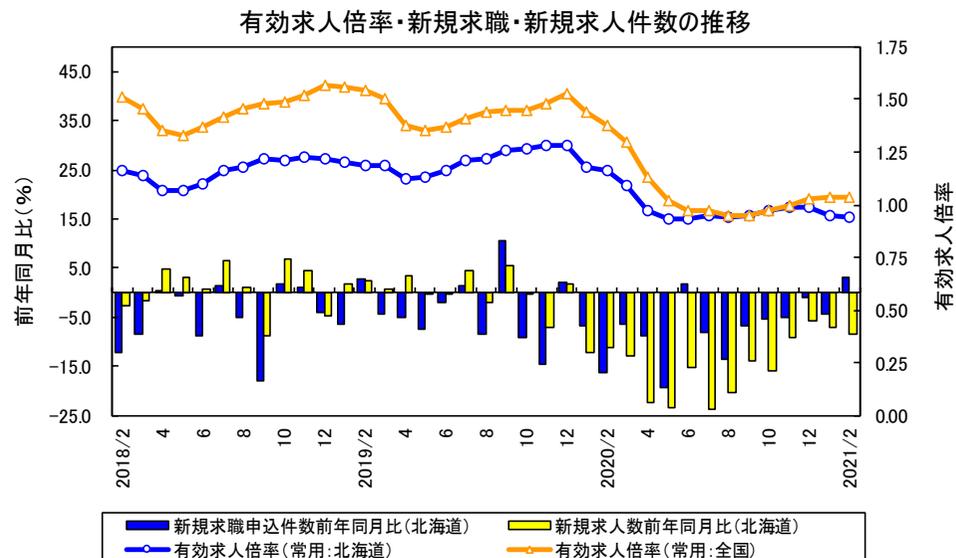
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

2月の有効求人倍率は、0.94倍と前年同月差0.22ポイント減少し、14か月連続で前年を下回った。

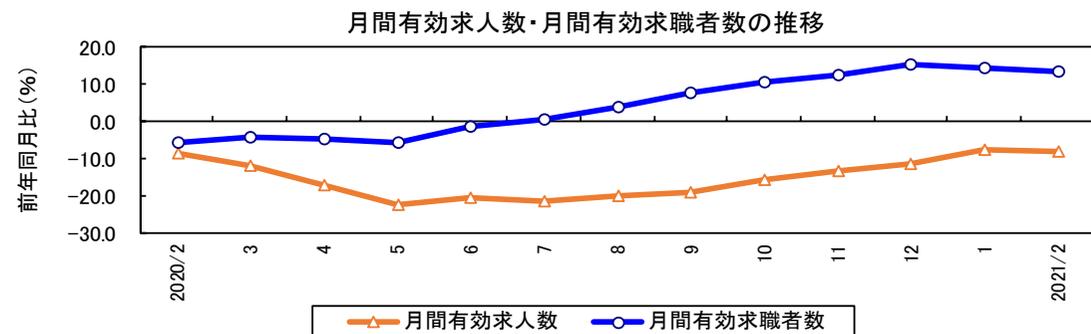


< 2月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.94倍
	新規求人人数(前年同月比)	▲ 8.5%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+ 3.0%
全国	有効求人倍率(常用)	1.04倍

< 2月 >

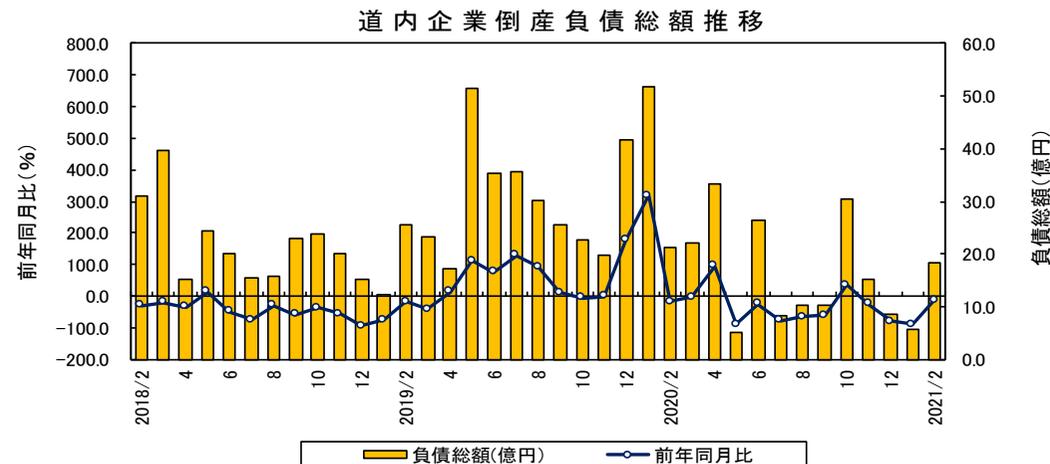
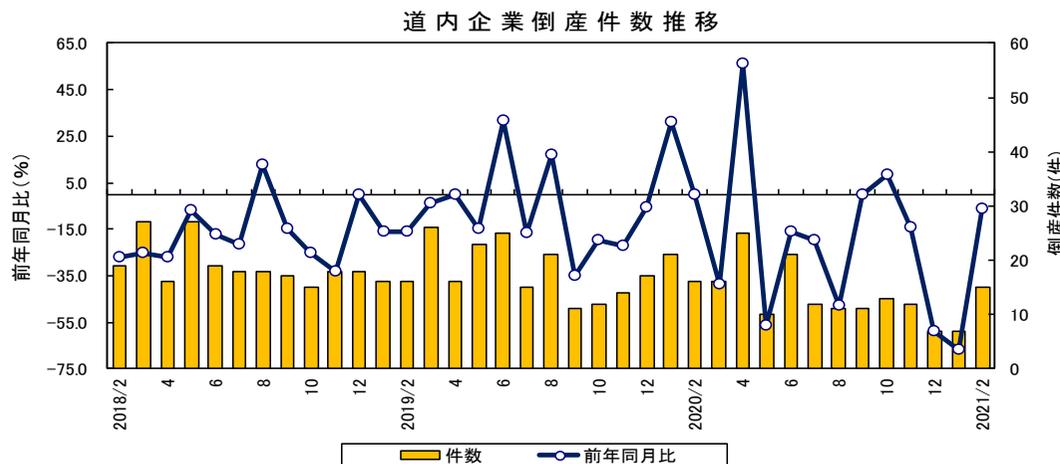
月間有効求人人数(前年同月比)	▲ 7.9%
月間有効求職者数(前年同月比)	+ 13.5%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

2月の倒産件数は15件で前年同月比▲6.3% (1件減)、また、負債総額は18.2億円で同▲13.9%と、いずれも4か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)